

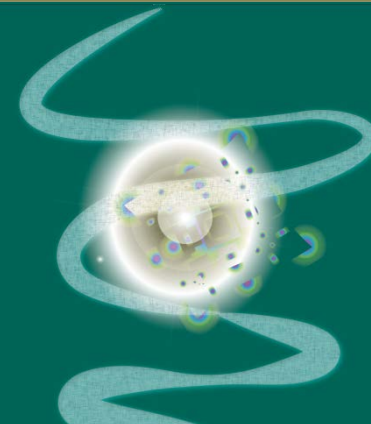
The 14th TRIZ Symposium

in Japan

YUMEJITSU

夢実

Realize your Dream
with TRIZ!



開会にあたって

2018年9月13日

NPO法人日本TRIZ協会理事長
三原 祐治

日本TRIZシンポジウムの開催経緯

	主催	開催時期	開催場所	発表数	参加者
第1回	日本 TRIZ 協議会	2005年9月1日～3日	ラフォーレ修善寺(静岡県伊豆市)	20件	104名
第2回		2006年8月31日～9月2日	パナヒルズ大阪(大阪府吹田市)	34件	157名
第3回		2007年8月30日～9月1日	東芝研修センター(横浜市港北区)	34件	204名
第4回	NPO法人 日本 TRIZ 協会	2008年9月10日～12日	ラフォーレ琵琶湖(滋賀県)	46件	180名
第5回		2009年9月10日～12日	国立女性教育会館(埼玉県)	42件	132名
第6回		2010年9月9日～11日	神奈川工科大学(神奈川県厚木市)	40件	165名
第7回		2011年9月8日～10日	東芝研修センター(横浜市)	33件	115名
第8回		2012年9月6日～8日	早稲田大学(東京都新宿区)	37件	110名
第9回		2013年9月5日～6日	統計数理研究所(東京都立川市)	28件	126名
第10回		2014年9月11日～12日	早稲田大学(東京都新宿区)	30件	135名
第11回		2015年9月3日～4日	オリンピック記念青少年センター(渋谷区)	27件	111名
第12回		2016年9月1日～2日	早稲田大学(東京都新宿区)	29件	141名
第13回		2017年9月21日～22日	中野サンプラザ(東京都中野区)	23件	121名
第14回		2018年9月13日～14日	中野サンプラザ(東京都中野区)	22件	名



今回（第14回）のシンポジウム全体像

1) 会期を2日間に設定

- より参加しやすい日程として設定（この日程で確立）
- 初心者向けにチュートリアルを実施
- 一般講演は全てパラレルセッションとして設定

2) シンポジウムの主題（TRIZで夢を実現しよう！）に沿った 基調講演および特別講演を設定 <この後のページのスライドを参照>

3) 各種団体の支援

TRIZの活動を関連学協会に周知していただく

- 後援：日本知財学会、品質工学会
- 協賛：応用統計学会、
情報・システム研究機構統計数理研究所リスク解析戦略研究
センター、独立行政法人統計センター、日刊工業新聞社、
日本科学技術連盟、日本機械学会、日本設計工学会、
日本創造学会、日本バリュー・エンジニアリング協会（50音順）



第14回TRIZシンポジウムの趣旨と企画

今回の主題：**TRIZで夢を実現しよう!**のもとに以下を企画

- 1) TRIZの初心者・中堅経験者への
チュートリアル場の提供（1日目）
- 2) TRIZとその関連分野での
適用、研究成果の発表、討論の場（1～2日目）を提供し
技術レベルの向上と普及・推進・適用の仕方の向上に資する
- 3) 技術進化機会マトリックス（TEOM）についての基調講演
（2日目）、および
中小企業における製品開発についての特別講演（1日目）
を企画
- 4) TRIZ関係者の交流の場を提供し、
TRIZコミュニティの発展に寄与する。



第14回TRIZシンポジウム・チュートリアル

チュートリアル：第1日目

「イノベーション技法TRIZ」

小西 慶久氏

(日本TRIZ協会)

初心者・中堅経験者を対象に、TRIZの基本的な考え方と代表的なツールを紹介



第14回TRIZシンポジウム・基調講演

基調講演：第2日目

「特許分析と戦略的発明のための 技術進化の機会マイニング (TEOM)」

Mi Jeong Song ミジョン・ソン氏
(Samsung Electronics)

イノベーションの優先順位を予測し、最も有望で具体的なアーキタイプの作成のために、TEOM（技術進化機会マトリックス）と呼ばれる新しいアプローチを提案



第14回TRIZシンポジウム・特別講演

特別講演：第1日目

「体系的手法の活用と技術革新に向けて！
～中小企業の製品開発への挑戦から～」

楠本 達司氏

(伸和コントロールズ株式会社)

中小企業の限られたリソースをいかに効率的に活用し、市場に受け入れられる製品を投入して来られたのかを体系的手法の活用の観点から報告



第14回TRIZシンポジウム準備&実行組織

■ シンポジウム実行委員会

実行委員長：三原 祐治

実行副委員長（兼会計担当）：津波古 和司

実行委員（事務局）：池田 理、福嶋 洋次郎

実行委員（ｽﾗｲﾄﾞ 翻訳）：津波古 和司、小西 慶久

実行委員（広報担当）：前古 護、広報委員会

実行委員（編集担当）：志方 敬、伊沢 久隆

プログラム委員長：小西 慶久

■ 開催準備協力

ポスター&パンフレットデザイン：志方 淳子、

開催準備：緒方隆司、古謝 秀明、長谷川陽一、

■ 会場設営&シンポジウム運営

日本TRIZ協会運営委員

（敬称略）



NPO法人日本TRIZ協会 とは

2004年5月 TRIZ懇話会発足
2005年1月 日本TRIZ協議会に衣替え
2007年12月 NPO法人日本TRIZ協会発足

活動の形態

会員ベースの公共的なボランティアベースの非営利法人活動

活動の目的

- 日本に於けるTRIZ普及活動のセンターとして機能する
- 我が国の技術開発力、国際競争力強化に資するため、活動をオープンで全国的なものにする
- TRIZに関心を持っている方々のより強固な結集と活動の場を継続的に提供する

★活動にご理解をいただき、是非ごいっしょに活動を！★



日本TRIZ協会の活動内容

主な活動

TRIZの普及&活用に向け

- シンポジウムの企画開催
- セミナーの企画開催
- 研究会活動
- 教育/出版のためのコンテンツの開発と普及活動

上記のために以下の組織で活動

- **企画委員会**：新規事業の企画立案・推進、中長期計画立案
- **技術委員会**：研究会統括推進、コンテンツ開発
- **広報委員会**：広報活動企画推進、HP運営、メルマガ発行
- **シンポジウム実行委員会**：シンポジウムの企画実行
- **総務委員会**：運営全般、事務局業務、会計業務

これらの活動は21名の執行委員と5名の協力委員によって支えられています。



日本TRIZ協会の研究会活動

■ 知財創造研究分科会 （主査：長谷川公彦氏）

- 活動成果は、明日の午前にポスターセッションで発表
- 昨年までの成果はCD等で入手できます

■ ビジネス・経営TRIZ研究分科会 （主査：吉澤郁雄氏）

- 活動成果は、明日の午前にポスターセッションで発表

■ 新しい時代の教育研究分科会 （主査：黒澤慎輔氏）

- 活動成果は、明日の午後にオーラル発表

■ 既発表情報活用研究分科会 （主査：永瀬徳美氏）：新規に設置

- 活動予定内容は、明日の午前にポスター会場に掲示

これらの研究会活動についての発表をお聞きになって是非ともご参加をご検討下さい。

また、上記以外にもご希望に応じて研究会を開催できます。不明な点は協会関係者に気軽にお問い合わせ下さい。



参加の皆さんへのお願い

- これからの発表に対して
皆さんの活発なご討論をお願いします。
 - それを通して、参加された皆さんの研究が
促進され、更なる成果に結びつけることを
期待しています。
 - 有意義な2日間を過ごされることを
期待しています。
-
- そして、来年のシンポジウムでは、
皆さんの中から積極的な発表が行われることを期待します。